

## 令和8年5月10日(日) 《午前》 「リーダーシップ④」

この夏にアメリカ・カナダへ留学する第14期Bコース研修生72名を対象に、5月10日(日)午前、リーダーシップ研修が開催されました。これまでに、「コーチングの基礎」、「ロールモデルとの出会い」、「リーダー像」について研修を積み重ねてきました。今回(最終回)は、「課題解決演習」がテーマです。パキスタン、ガーナ、スリランカ、フィリピン、インド、インドネシア、マレーシア、香港から来日した留学生12名が、各グループに1名ファシリテーターとして参加し、研修の理解を深めました。前半では、留学生のこれまでの経験、価値観に触れ、留学生の視点で見た地球・社会の課題について学びました。



後半では、グループごとに現代の課題、その課題解決のための行動について話し合いました。その後、グループごとに話し合った内容について、発表をしました。テーマは Gender Equality, Education, Plastic Problems, Sustainable Living 等、多岐に渡りました。各グループの発表、質疑応答は英語で進められました。研修生の振り返りでは、「各人が様々な考えを持っているので、もっと考えを伝え合いたい」、「Global Issues のことをもっと学びたい」などの積極的な意見が出されました。

留学先で現地の高校生と交流する機会がもうすぐ始まります。様々な考えに触れ、自分の意見を伝え、一緒に活動し、研修生がリーダーとしての資質を更に深めてくれることと、大いに期待しています。



令和8年5月10日(日) 《午後》 「ゼミナール④」



まもなくアメリカ合衆国、カナダへ留学する14期Bコースの研修生対象の第4回ゼミナール研究を、5月10日(日)午後を実施しました。

今回は留学前の最終回として、第1回から第3回までの班編成とは異なる12名ずつ、計6グループで、発表と協議を行いました。研修生は、慣れ親しんだ班のメンバーではなく新しいメンバーに対して自分の研究内容のアウトラインを発表することで、様々な考えにふれ、自分の意見を伝える貴重な経験となりました。

発表では、一人当たり11分間の時間が割り当てられました。研究アウトラインの説明に6分、質疑・応答に3分、指導者からの講評1分、発表内容に対するメッセージ「アドバイスシート」を書く時間1分が持ち時間となり、司会や計時係も研修生自身で行いました。パソコンを持参し、プレゼンテーションソフトを使って発表する研修生もおり、工夫を凝らして自分の研究の内容を発表することができました。

今回の研修で得られたアドバイスを参考にして研究アウトラインを更に磨き、研究論文の完成に向けて調査や研究が本格的に始まります。自分で納得のいく論文に仕上げたいと願っています。